

助 成 事 業 者 の 概 要

1. 助成事業者について

①名称	例：〇〇商店街振興組合 例：〇〇事業協同組合 例：〇〇商店会	
②所在地	〒△△△-△△△△ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地	
③代表者役職・氏名 (ふりがな)	役職： 氏名： ()	
④電話番号／FAX番号	電 話： () FAX： ()	
⑤実施事業の担当者及び会計処理担当者（ふりがな）等	実施事業の担当者氏名： () 担当部署： 連絡先電話番号： メールアドレス： 会計処理担当者氏名 ()	
⑥設立年月日	年 月 日	
⑦店舗の集積状況 (事業を営む者の数)	店	
⑧組合員数	人	
⑨専従役員数	役員（役職名）：	人 職員：
⑩属性 (該当する番号に○をつけてください)	1. 商店街振興組合、事業協同組合等において組織される法人格を持った商店街組織 2. 法人化されていない任意の商店街組織であって、定款等により代表者の定めがあり、財産の管理等を適正に行うことができるもの 3. 上記①、②に類する組織（商工会、問屋街、共同店舗、テナントビル、市場など） 4. 商店街組織の連合体（連合会組織、連盟組織、連名、複数の商店街を包含する商工会等）	
⑪地域商店街活性化事業の採択実績	採択次： <u>1次先行</u> ・ 1次通常（該当する方を○で囲む） 採択事業者名：〇〇〇商店街 ※連合会や連名等の2者以上の組織から成る連合体で採択実績があり、今回その傘下組織が単独で申請している場合、また傘下組織に採択実績があり、今回その傘下組織を構成員とする連合会や連名等の2者以上の組織から成る連合体で申請している場合にも記載してください。	

該当する助成事業者は、(様式3)事業計画書の「地域商店街活性化事業の採択実績がある場合」を記載してください。

①行政人口（組合の認可行政庁たる県または市区）	
②最寄り駅等	最寄り駅： 線 駅 最寄り駅からの距離： m、徒歩 分、車 分
③商店数及び商店街の店舗構成	合計： 店（うち、空き店舗数 店） ◇生鮮三品（ 店（ % ）） ◇衣料品（ 店（ % ）） ◇その他小売り（ 店（ % ）） ◇飲食店（ 店（ % ）） ◇その他サービス（ 店（ % ）） ◇その他（ 店（ % ））
④商店街の概況 ・特徴 ・周辺地域の概況 ・来街者の概況 ・地域住民のニーズ ・課題、問題点 ・取組状況 等	商業と関係する
⑤商店街組織における世代交代の取組状況及び事業遂行における女性・若手の参画状況	青年部はこれまでも〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も青年部が中心となって開催することで、〇〇〇の効果があると考ええる。 商店街組織に次世代を担う人材(若手・女性)がいるかどうかだけではなく、本イベント等事業の実施にあたって、助成事業者内の若手女性が積極的に(どのように)関与しているかについて記載してください。

商店街組織に次世代を担う人材(若手・女性)がいるかどうかだけではなく、本イベント等事業の実施にあたって、助成事業者内の若手・女性が積極的に(どのように)関与しているかについて記載してください。

[illegible]

事業実施予定期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
----------	---------------------

事業名	〇〇〇商店街〇〇〇事業
事業の概要 ※助成事業を活用して実施する事業のみ記載してください。 ※事業が複数ある場合（商店街の恒常的な集客力向上や販売力向上が見込まれるイベントと商店街の体質強化に資する事業等）、各事業の具体的な内容をそれぞれ記載してください。	本商店街は、これまで〇〇〇、〇〇〇といった事業に取り組んできたが〇〇〇や〇〇〇というような状況が続き、〇〇〇が大きな課題となっている。そこで、〇〇〇のための〇〇〇を開催し、〇〇事業を実施する。さらに、〇〇〇の〇〇〇調査を行うことで、〇〇〇開催や〇〇事業がより〇〇〇になるよう、また〇〇〇な〇〇〇や〇〇〇向上につなげる。 ①〇〇〇開催（〇〇年〇〇月〇〇日予定） 青年部が中心となり〇〇〇を〇〇〇するための〇〇〇を開催する。 これまで本商店街では、〇〇等の〇〇〇〇〇を実施してきたが、年々参加者数も減少傾向にあり、活気も失われつつある。 そこで、本事業においては、新たな事業として〇〇〇商店街の〇〇場所にて、地元〇〇による〇〇等を開催する。〇〇と協働して〇〇を行うことで、本事業の〇〇を向上させる。 ②〇〇事業（〇月上旬～〇月〇旬、以降〇回／週開催予定。） 次世代を担う〇〇の経営者や商店街の〇〇〇〇育成を目的に、〇〇〇商店街の〇〇や〇〇にて〇〇実践セミナー、〇〇〇商店街の〇〇と〇〇事業等を実施する。 上記事業を実施することで、商店街の〇〇性を高め、〇〇〇で〇〇力のある商店街の体質を強化することができる。 ③〇〇調査（〇〇〇開催にあわせて〇〇を実施し、〇月下旬まで分析を行う。） 上記①の〇〇〇にあわせて、〇〇〇の〇〇調査を実施する。 上記①の地域住民を含めた来場者に〇〇〇を実施し、〇〇が求める〇〇〇や商店街に求められている〇〇〇、また上記②の〇〇事業にどのような〇〇が必要か等を調査し、今後の継続的な顧客の〇〇や〇〇〇事業の実施における〇〇性や〇〇性を検討を行う。 ④〇〇〇〇〇（〇〇年〇〇月〇〇日） ・ ・ ・ 以上の事業を行うことで、〇〇〇な事業効果が見込まれ、商店街の〇〇〇を図ることで、継続的な顧客の〇〇〇や他の〇〇〇事業との連携などを通じ、商店街の活性化につなげる。
イベント（助成事業活用） ※上記「事業の概要」に記載した内容のうち、イベントの事業名及び開催予定日を記載してください。 ※イベントが複数ある場合には、行を追加して記載して下さい。	イベント名：①〇〇〇〇開催 開催予定日：①平成〇〇年〇〇月〇〇日
イベント（自己負担） ※助成事業を活用せずに自己負担で開催するイベントがある場合、イベント名及び開催予定日を記載してください。 ※イベントが複数ある場合には、それぞれについて記載して下さい。	イベント名：①〇〇〇〇開催 開催予定日：①平成〇〇年〇〇月〇〇日

事業の概要に記載している内容を再掲してください。
イベント事業を複数実施する場合は、それぞれの開催予定日を記載してください。

事業計画書

本事業の実施体制及び他機関との連携体制	【実施体制】 〇〇商店街においては、理事長が全体を統括し、担当Aが〇〇〇、担当B（青年部）が〇〇〇、担当Cが〇〇〇を担う。 【他機関との連携】 ①〇〇〇開催においては、地元の〇〇センターと協働して〇〇を実施する。 ②〇〇〇調査においては、〇〇市〇〇課と連携して〇〇〇に取り組む。 ③〇〇〇事業においては、NPO〇〇〇の協力のもと、〇〇〇を実施する。 【企画・運営】〇〇商店街 <pre> graph TD A["【企画・運営】 〇〇商店街"] --> B["【運営支援】 〇〇センター"] A --> C["【調査企画支援】 〇〇市〇〇課"] A --> D["【運営支援】 NPO法人〇〇"] </pre> 事業全体の実施体制(役割分担)を図示してください。
継続している事業の場合は、これまでとの違い（新規の要素）を記載	新規 ・ 継続 （該当する方を○で囲む） （継続の場合、具体的に） 従前までは、〇〇〇開催は〇〇〇や〇〇〇や〇〇〇を実施してきたが、商店街全体への波及効果は低い状態となっていた。 本事業においては、新たに〇〇〇及び〇〇〇を実施し、〇〇〇と連携することにより、さらなる〇〇〇につなげることができる。 行う事業が継続事業である場合、何らかの新規性が認められる必要があるため、できる限り新規の要素を詳しく記載してください。
地域商店街活性化事業の採択実績がある場合は、採択事業について、①事業名及び概要、②今回申請している事業との違い、③それぞれの事業効果について合理的な説明を記載	①事業名：〇〇〇商店街活性化事業 概 要：(1)〇〇事業：本商店街においても〇〇〇化が進んでいることから〇〇〇を〇〇〇するため〇〇〇を実施し、〇〇〇に取り組んでいく。 (2)〇〇事業：〇〇〇を中心として〇〇〇を開催する。（〇月〇日）〇〇〇とも連携して〇〇〇することで〇〇〇つなげていく。 ②今回申請している事業との違い： 前回の事業は〇〇〇および〇〇〇を行うことで〇〇〇を図り、本商店街を〇〇〇させていく取り組みであり、今回の事業は、それを踏まえて〇〇〇や〇〇〇を実施することとしており、〇〇〇することにより〇〇〇となり、加えて〇〇〇を行うことで〇〇〇となることから本商店街の〇〇〇につながる。 ③それぞれの事業効果について合理的な説明： 前回の事業を実施することでの事業効果は、事業実施前の歩行者通行量が〇〇〇人であるところ、事業実施後は〇〇〇人と設定していたところ、本事業の実施により〇〇〇が〇〇〇されることで〇〇〇が見込まれるため事業効果は〇〇〇となる。

4. 事業の効果・数値目標

事業の効果・数値目標 ※事業の効果を測定する指標として定めた、「歩行者通行量（イベント実施時などの通行量ではなく、平常時の通行量を用いること）」の増減及び「売上高」の増減（又は「空き店舗数」の増減）、その他独自に設定した指標の効果を記載すること ※基準値となる数値（事業実施前の測定値）はパーセンテージ等ではなく、実数値で記載すること 数値目標は、事業を実施する商店街等の歩行者通行量、売上高（又は空き店舗数）を必須とし、事業実施後5ヶ年間の数値目標を設定してください。	〇歩行者通行量 「事業実施前」は、直近における実測値を記載してください。 ※平常時の実測値データがない場合、申請書の提出までに調査した上で、直近の実測値を記載してください。（なお、交付決定前の歩行者通行量調査に係る経費は助成対象とはなりません。） <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>数値目標</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施前</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> <td>調査日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時） 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時）</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> <td rowspan="3">歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、報告にあたっては、同様の手法を用いてください。</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> <td rowspan="2">数値は、約〇〇人やおよそ〇〇人とするのではなく、細かな数字で示してください。歩行者通行量には、自転車や自動車の台数は含めず、歩行者のみの数値としてください。</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）</td> </tr> </tbody> </table> 数値目標の根拠 数値目標の根拠については、それぞれ定量的な数値を用いて記載してください。なお、統計上のデータを引用した場合には、その旨を記載してください。	時期	数値目標	備考	事業実施前	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	調査日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時） 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時）	平成26年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、報告にあたっては、同様の手法を用いてください。	平成27年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	平成28年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	平成29年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	数値は、約〇〇人やおよそ〇〇人とするのではなく、細かな数字で示してください。歩行者通行量には、自転車や自動車の台数は含めず、歩行者のみの数値としてください。	平成30年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）
時期	数値目標	備考																	
事業実施前	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	調査日時：平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時） 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇時～〇〇時）																	
平成26年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、報告にあたっては、同様の手法を用いてください。																	
平成27年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）																		
平成28年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）																		
平成29年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）	数値は、約〇〇人やおよそ〇〇人とするのではなく、細かな数字で示してください。歩行者通行量には、自転車や自動車の台数は含めず、歩行者のみの数値としてください。																	
平成30年度	〇〇人／日（平日） 〇〇人／日（休日）																		

事業計画書

○売上高（空き店舗数）

時期	数値目標	備考
事業実施前	〇〇円 (〇〇店)	平成〇〇年〇〇月
平成26年度	〇〇円 (〇〇店)	
平成27年度	〇〇円 (〇〇店)	
平成28年度	〇〇円 (〇〇店)	
平成29年度	〇〇円 (〇〇店)	
平成30年度	〇〇円 (〇〇店)	

「事業実施前」の売上高は、直近における実測値もしくは推計値(〇〇万円)を記載してください。

売上高の実測値(〇〇円)を記載する場合には、〇〇万円以下は省略可とします。

数値目標の根拠

売上高の数値目標の根拠を出来る限り、具体的に記載してください。なお、統計上のデータを引用した場合には、その旨を記載してください。

○その他独自に設定した指標（任意）がある場合には、行を追加して記載して下さい。

取組が単発で終わらず効果を維持するための工夫、資金の手当て

〇〇〇と連携して〇〇〇の取組を行うことで、〇〇〇が可能となり事業継続が図られることに加え、〇〇〇や〇〇〇といった事業効果の継続性も保たれる。来年度以降も、〇〇と協働して〇〇運営を行っていくことで、〇〇が〇〇〇事業を実施することになっており、〇〇〇が期待できる。さらに、〇〇〇開催時に〇〇〇調査を実施し、〇〇に応じた〇〇〇を展開していくことで〇〇〇な商店街づくりを目指す。

事業継続のための資金の手当てについては、〇〇や〇〇から〇〇することによって〇〇していき、〇〇にも〇〇〇を〇〇〇していくこととする。

本事業のみならず、助成金の対象となっていないが、自主的な取組などが事業効果の継続性に寄与する場合、それらも含めて記載してください。

(様式4)

経費明細書

事業者名	〇〇商店街振興組合	消費税抜き金額 (助成金額の合計が400万円を超える場合は、金額を調整してください。)
事業名	2013〇〇商店街〇〇フェスタ	

消費税抜き金額

(単位:円)

助成対象経費項目		助成事業に要する経費	助成対象経費		助成金額	助成事業に要する経費にかかる積算内訳(消費税込み)
区分	項目		員数・回数等	事業金額		
①謝金	謝金	210,000	4人	200,000	200,000	〇〇60,000、〇〇〇70,000、〇〇〇40,000×2人=80,000
②旅費	旅費	120,000	3人	114,285	114,285	〇〇30,000、〇〇〇40,000、〇〇〇25,000×2=50,000
③庁費	会議費	21,000	5回	20,000	20,000	@400×10人×5回×1.05=21,000
	借料	535,500	—	510,000	510,000	〇〇ホテル@20,000×5回×1.1×1.05=115,500、〇〇施設@200,000×2日×1.05=420,000
	設営費	1,417,500	—	1,350,000	1,219,763	ステージ設営500,000×1.05=525,000詳細は別紙のとおり、PAレンタル200,000×1.05=210,000、・椅子・テーブル等レンタル等250,000×1.05=262,500、遊具レンタル@200,000×2×1.05=420,000
	広報費	514,500	—	490,000	490,000	ポスター@300×500枚×1.05=157,500、チラシ@20×5,000枚×1.05=105,000、折込@10×4,000枚×1.05=42,000、新聞広告100,000×1.05=105,000ラジオ放送100,000×1.05=105,000
	印刷費	267,750	—	255,000	255,000	抽選券@50,000×1.05=52,500、イベントマップ@100×2,000枚×1.05=210,000、イベントアンケート用紙コピー@10×500枚×1.05=5,250
	資料購入費	22,000	—	20,952	20,952	イベント事例集@2000×11=22,000
	通信運搬費	42,000	—	40,000	40,000	イベント案内@80×525=42,000
	備品費	36,750	—	35,000	35,000	パソコン、拡声器等レンタル 詳細は別紙のとおり
	消耗品費	5,250	—	5,000	5,000	ガムテープ、画用紙、軍手等 詳細は別紙のとおり
	委託費	630,000	—	600,000	600,000	イベント企画・運営・通行量調査@600,000×1.05=630,000 詳細は別紙のとおり
	外注費	262,500	—	250,000	250,000	イベント警備@25,000×5人×2日×1.05=262,500
	雑役務費	240,000	—	240,000	240,000	@8,000×15人×2回=240,000
	小計	3,994,750	—	3,815,952	3,685,715	
④その他の経費	その他の経費	0	—	0	0	
①～④の合計		4,324,750	—	4,130,237	4,000,000	
⑤その他助成対象外経費		100,000	—	—	—	道路使用・占有申請料等
総事業費 (①～⑤の合計)		4,424,750	—	4,130,237	4,000,000	

注1: イベント等と体質強化の事業等、事業が複数となる場合、事業ごとの経費明細書とは別に、経費明細書の総括表も提出してください。
 その場合、本様式を適宜複製してご使用ください。

注2: 各経費の積算内訳を示してください。必要に応じて別紙を添付してください。

(様式5)

地域商店街活性化事業 支援表明書【市区町村】

平成 年 月 日
〇〇市長 〇〇 〇〇 印

助成事業者名	
事業名	

記載市区町村	
担当部署	
担当者名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

1. 当該地方公共団体が考える助成事業者（商店街組織）の役割・重要性
市域に存在する商店街全般の役割・重要性ではなく、個別の助成事業者の役割・重要性について言及してください。
2. 今後の助成事業者（商店街組織）に対する支援への意見表明
市域に存在する商店街全般に対する支援ではなく、個別の助成事業者に対する支援への意見表明についてご記載ください。

●共同店舗、テナントビル等からの申請における確認事項

<貸し手が中小企業者であり、借り手の多くが中小企業者であることの説明>

貸し手 協同組合〇〇〇	(説明) 〇〇〇組合法に基づく組織であり、〇〇〇組合法により、その組合員は中小企業者であることが定められていることから、貸し手は中小企業者であると言える。
借り手 【店舗数】 大手:〇店舗 中小:〇店舗 【床面積】 大手:〇% 中小:〇%	(説明) 借り手に大手企業(〇〇、〇〇、〇〇、〇〇)は存在するものの、店舗構成は中小企業が〇%を占めており、床面積でも中小企業が〇%を占めていることから、借り手の多くが中小企業者であることは満たしていると考ええる。

●市場等からの申請における確認事項

<不特定多数の一般消費者を対象として事業を行っていることの説明>

(説明)※HP画面やチラシを添付しても可

〇〇市場は一般消費者を対象として〇〇を行っており、〇〇だけでなく〇〇の買い物場として定着している。

<開場時間>

AM〇〇時~PM〇〇時
定休日:〇曜日

①商店街組織の連合体等(連合会、連盟、連名、商工会等)からの申請における確認事項

<傘下の商店街組織リスト及び傘下の商店街組織ごとの事業効果>

傘下の商店街組織		歩行者通行量		売上高 (空き店舗)		その他	
		実施前	実施後	実施前	実施後	実施前	実施後
1	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
2	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
3	〇〇商店街振興組合	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		
4	...						
5	...						
合計	〇〇商店街組合連合会	〇〇〇人	〇〇〇人	〇〇円 (〇〇店舗)	〇〇円 (〇〇店舗)		

※傘下の商店街組織の数に応じて、行を追加して記載して下さい。

<傘下の商店街組織それぞれの商店街等区域図>

※歩行者通行量について、測定箇所を商店街等区域図(各店舗の場所が分かる街区図)に図示して下さい。【様式任意(※別紙で添付すること)】
 なお、連たんする商店街組織の場合、合理的な説明があれば、必ずしも全ての傘下商店街組織ごとの事業効果は必要ありません。

●連たんする商店街組織において、傘下の商店街組織ごとに歩行者通行量を測定しない場合、その理由

(説明)

5. 〇〇商店街振興組合と6. 〇〇商店街振興組合は、いずれも〇〇通り沿いに南北に延びる商店街のため、その連結部である〇〇前(別紙街区図参照)で測定することで、適切に歩行者通行量を測定できると考える。よって、2商店街の歩行者通行量は、〇〇前1地点での測定結果を記載している。

※上記の説明は、測定箇所を図示した商店街等区域図に記載しても構いません。

②重複申請における確認事項

<傘下商店街組織が本助成事業に申請していることについての言及>

(説明)

〇〇商店街振興組合は、単独で〇月〇日に申請している。
 〇〇商店会は、〇〇商栄会及び〇〇商店街と3者の連名で〇月〇日に申請している。
 〇〇商店街は、〇〇協議会の構成員として〇月〇日に申請している。

その他、〇〇の商店街組織は本助成事業には申請していない。

<連合体が実施する事業と傘下商店街組織が実施する事業との違い>

(説明)

本連合会で実施する事業は〇〇を目的とした〇〇であり、傘下の〇〇商店街振興組合が単独で申し込んでいる事業は〇〇を目的とした〇〇であり、〇〇という点で異なっている。また、〇〇商店会の3者連名申請の事業については、〇〇及び〇〇を実施するものであり、〇〇とは異なる。〇〇商店街が〇〇協議会の構成員として申請している事業は、〇〇と連携して〇〇を実施するものである。上記の〇〇と〇〇と〇〇を実施することにより、本連合会で実施する事業にも〇〇などの相乗効果が見込まれ、以下の事業効果につながると考えている。

<連合体と傘下商店街組織それぞれの事業効果>

(説明)

〇〇商店街振興組合の事業実施前の歩行者通行量は〇〇で、事業実施後の通行量は〇〇である。本連合会が実施する事業と〇〇すると、〇〇商店街振興組合の事業実施後の歩行者通行量は、〇〇となる。あわせて、〇〇商店街振興組合の事業実施前の売上高は〇〇で、事業実施後の売上高が〇〇であるところ、本連合会が実施する事業と〇〇すると、事業実施後の売上高は〇〇となる。…